

宮古島市都市交通交通戦略（案）に関する意見募集(パブリックコメント)

実施結果

- 実施目的： 関係機関ヒアリングや検討委員会などを実施し、「宮古島市都市交通戦略（案）」を作成しましたので、これを公表するとともに、市民のみなさまから広く意見を募るパブリックコメントを実施いたしました。
- 実施期間： 令和6年8月26日（月曜日）から令和6年9月9日（月曜日）まで
- 応募資格： 宮古島市内に住所を有する方
宮古島市内に事務所または事業所を有する方、法人その他団体
- 提出方法： 郵送、ファクス、電子メールまたは持参のいずれかの方法で提出
- 公表資料： 宮古島市都市交通戦略（案）
- 結 果： 10件（6名）

■：公共交通について

	提出された意見等の概要	対応方針	意見の 取扱	掲載 ページ
自動 運転 につ いて	<p>公共交通の利便性の観点から郡部はお年寄りが増えて、移動が困難な人口は増え続けているが、その恩恵にまだ授かれていない。</p> <p>また、オーバーツーリズムの影響で郡部へ人や車が流入し、交通事故やトラブルの増加、環境破壊、治安悪化も問題となっている現状がある。</p> <p>宮古島の運転手不足、事故や渋滞回避、脱炭素等の課題に対しての解決手段として、EV 自動運転モビリティが有効であるため、速やかに着手するべきだと考える。離島という区切られた地理性からも自動運転の実証はやりやすく、今からやらなければ遅くなるといった視点が重要である。自動運転を活用することで地域拠点のみではなく、きめ細やかな路線バスが提供できるのではないかな。</p> <p>交通問題の解決だけでなく、夜間は EV カーが自動運転により島内の巡回し、違法行為等（作物の盗難、海産物等の密猟、土地の不法利用等）を未然に防ぐ役割も担うことができるのではないかな。離島という特性を活かした先端的で野心的な実験や実証を手掛けてもっと市民に未来の生活を想像させるような中長期の取り組みも同時に進めて欲しい。</p>	<p>本市交通マスタープランでは、郊外部における交通施策として、各旧庁舎周辺をサブ結節点として定めており、路線バスとの連携を図りながら、グリーンスローモビリティや超小型モビリティ、自動運転の導入について研究を進めることを示しており、ご指摘のとおり、離島の特性を活かしながら、その実現化に向けて引き続き取り組んでいきたいと考えております。</p> <p>本交通戦略 p.42-43 にて「〈施策 No.22〉 CASE の技術導入研究」を推進する上で、参考にすべき事例について追加します。</p>	修正 ・ 加筆	p.42- 43

	提出された意見等の概要	対応方針	意見の取扱	掲載ページ
自動運転について	<p>自転車を活用した移動についても検討してはどうか。エコ、運転免許不要、渋滞解消、手軽さなどのメリットがあると考えます。</p> <p>大都市では、公共施設や駅前など人の移動の結節点に自転車の貸出ステーションがあり、自転車専用レーン(道路)があれば、日頃の生活も、観光にも広がっていくのではないかと。</p>	<p>本市では近年、宿泊施設や下地島空港、市街地などでレンタサイクル事業が民間事業者において広まっており、国内外を問わず観光客からの需要もあるものと推測しております。</p> <p>また、自転車を活用した移動の利点については認識しているものの、その利便性向上に向けて取り組むためにはハード整備等や、島内において車輛のメンテナンス事業者が少ない等の課題も多いため、今後、市民ニーズの調査も含めて、民間事業者とも意見交換を行いながら検討していく必要があると考えております。</p>	修正 ・ 加筆	p.14- 15 p.17
平良港バスターミナルについて	<p>平良港のバスターミナル(マティダ市民劇場の港側)について、以下の点を教えていただきたい。</p> <p>①この施設をどう評価しているのか</p> <p>②この空間を今後どう活かすのか</p> <p>この立地条件を活かして、観光商業拠点と一体となった「総合バスターミナル」整備を進めてはどうか。</p>	<p>平良港(宮古)～普天間港(多良間)を結ぶ多良間海運フェリーの発着地点がターミナルの南側に位置しており、多良間島への人流だけでなく村民の生活物資など物流の重要な拠点であります。現在、船舶物資の搬出・搬入において、埠頭背後の交通量の多い国道を介して行っているため、円滑な物資輸送に支障が出る状況にあることから、臨港地区内での道路の整備を検討しております。</p> <p>また、ご指摘の施設について、北部地域や伊良部島からの市街地への市民アクセスおよび拠点としては有効な位置にある施設だと考えているものの、現在展開されているみなとまちづくりにおいては、本市の二次交通への課題に対し、国内外のクルーズ客が公共交通を利用しやすい地点として CIQ 施設付近の港湾区</p>	今後の参考に するもの	p.31 p.37

	提出された意見等の概要	対応方針	意見の 取扱	掲載 ページ
		<p>域に交通拠点形成するなどの方針を示しているところです。</p> <p>さらに、バスターミナル整備に向けては、本年度、バス路線の再編に向けた実態調査が行われます。その中で得た結果を踏まえて検討が必要あるため、本交通戦略 p.31 にて「平良港周辺の機能強化」、p.37 にて「既存路線の再編および効率化」を実施プログラムとして位置付け、本市の交通関連計画やまちづくり計画と連携し、本市の海の玄関口としての交通機能や交流機能の強化に向け引き続き検討を行います。</p>		
市役所・旧庁舎周辺について	<p>「交通結節点」に位置付けられている市役所周辺の「機能面」の充実を図っていただきたい。特に「バスの乗り換え機能」を希望したい。市役所前から市内各所へ放射線状にバス路線が張り巡らされることが理想である。(市民がタクシーを利用できない弊害への対応として、市民による市役所・警察等への利便性向上など)</p> <p>旧平良庁舎および第二庁舎跡地の結節点化も検討頂きたい。旧平良庁舎については、市民と観光客の両方に魅力的な利活用として頂き、バスの乗り換え時間が有意義となるような工夫(バスを前向きに乗り換える理屈付け)をお願いしたい。</p>	<p>市街地骨格軸内の拠点である平良庁舎周辺や総合庁舎周辺は、それぞれ、宮古島市役所平良庁舎利活用事業や市役所周辺まちづくり事業が検討されております。</p> <p>ご指摘のとおり、例えば市総合庁舎を拠点に放射状に各旧町村部へとバス路線が伸びることで市民の及び観光客の利便性の向上が図られることは考えられますが、現在、総合庁舎においてはバスが滞留できる規模のスペースが確保できず、解決すべき課題もあります。また、一部バス事業者からは宮古空港に近接する立地の良さや、大型商業施設に近接するバス待ち環境の良さから、JTA ドーム周辺にバスの乗り換え機能を有した結節点の設置を希望する声もあることから、引き続き、市民及び観光客のニーズ調査や、バス事業者との意見交換を進めながら検討していきたい</p>	今後の参考にするもの	p.33-37

	提出された意見等の概要	対応方針	意見の 取扱	掲載 ページ
		と考えております。 また、平良庁舎周辺における結節点の設置についても、中心市街地活性化と併せて検討していきたいと考えております。		
現状のバス施策について	スピード感のある実施をお願いしたい。 現状のバス利用に対しての提案や広報の告知力が弱い。	市民や観光客の利用者目線に立った効率的かつ効果的な公共交通の提供ができるよう新たなバス路線の設置や路線の再編を含め、調査、検討を行っています。 また、本交通戦略 p.33 にて「分かりやすい情報案内の構築」、p.40 にて「ICT を活用した Maas 導入の検討」を実施プログラムとして位置付け、分かりやすい交通体系の構築を目指します。	今後の参考にするもの	p.34 p.40

■：道路について

	提出された意見等の概要	対応方針	意見の 取扱	掲載 ページ
ラ ウ ン ド ア バ ウ ト に つ い て	<p>ラウンドアバウトの導入検討について、下地与那覇にある県道保良上地線と市道仲ネク線、市道内浜線の交差点も候補地に追加することを検討いただきたい。</p> <p>県道は、一時停止なく通行できるのに対して、他の3方向の往復交通が全て一時停止となる交通運用がされているが、圧倒的に接続する市道の交通が多く、交差点に入ってからUターンや反対車線走行などのレンタカーも見られるため、交差点の安全な交通処理は重要な課題である。</p>	<p>ラウンドアバウトの導入に向けては、交通事故の減少、防災機能の向上が求められる交差点での導入を想定しております。</p> <p>ご提案頂いた交差点については、県道と市道が入り混じった複雑な交差点であり、津波浸水想定区域内であることから、安全で快適な通行空間の確保が必要な交差点であると認識しております。</p> <p>本交通戦略 p.53「ラウンドアバウトの導入検討」にて試行運用の候補地として追加し、引き続き、他の交差点を含め試行運用に向けた関係機関との協議を進めてまいります。</p>	修正 ・ 加筆	p.53
空 港 下 道 路 に つ い て	<p>(構想)空港下道路について、宮古島市都市交通マスタープランで「その必要性、実現性の検討を進めます」と表されているものが、必要性、実現性の検討を進める間もなく、いきなり「実現化へ向けた検討」とするのは経緯が明らかではないため、「引き続き必要性や実現性の検討を進めます」という表現の方が適切ではないか。</p> <p>また、まちづくりの視点から道路を活用して地域全体をどう維持していくかを市民と共に考える場が必要である。</p>	<p>当該路線については、平成28年に発足した整備促進期成会より、沖縄県知事あてに早期整備について要請を行っており、その後、本市からも沖縄県に対し、沖縄振興拡大会議などの会議の場において繰り返し要望を行っておりますが、「今後の検討課題」とする措置状況に留まっております。</p> <p>一方、令和3年に改定した本市都市計画マスタープランにおいては、市民の生活利便性の向上や地域の一体性に資する地域連携軸として当該路線の構想を位置付け、優先的な整備を図り、地域間連携強化や地域活性化を促進することとしています。</p> <p>このような経緯・背景を踏まえ、沖縄県に対しより具体的な要望、要請を行っていく上での根拠資料等の</p>	修正 ・ 加筆	p.26

	提出された意見等の概要	対応方針	意見の 取扱	掲載 ページ
		<p>作成を目的とする調査業務を今年度より実施していることから、都市交通マスタープランの表現から少し進んだ形での表現としておりましたが、沖縄県への要望と並行して、今年度業務以降も引き続き必要性や実現性の検討をしていく必要がございますので、ご意見を踏まえ、表現を修正いたします。</p> <p>伊良部大橋開通や国際旅客船拠点形成港湾など都市の構造は変化しており、道路という観点からまちづくりを形成する必要性は高まっていると捉えております。そのため、市民が参画できる意見交換会や市民アンケートなど（構想）空港下道路だけでなく道路整備とまちづくりが連携できるような手法を検討いたします。</p>		
維持管理について	<p>道路ネットワーク環境の維持のため通学路等、優先順位を決めて雑草除去・道路の穴埋めを行うとあるが、LINEの「不法投棄通報」の雑草バージョンを制作してはどうか。定期的なパトロールも良いが市民の声を反映して欲しい。</p>	<p>本市公式LINEの通報システムを活用することは、道路ネットワーク環境の維持の観点から有用だと考えておりますが、電話などによる通報への対応でも人員不足より苦慮している現状があります。また、修繕だけでなく、警報時の緊急出動などもあることから、通報の仕組み、対応の仕方、対応職員の増員など検討課題が多く、活用には至れておりません。</p>	今後の参考にするもの	p.25-26
環境美化活動	<p>環境美化活動（緑化、プランター設置）等は、時間をかけずにスタートするべきである。スケジュールにとらわれ過ぎず、柔軟にやれることから進めるべきである。</p>	<p>本交通戦略 p.27「〈施策 No.6〉道路空間の快適性の向上」の中で、県のフラワークリエイション事業を位置付け、観光客や市民に親しまれる道路空間の提供を目指します。この事業は、平成28年より取り組まれており、植栽と併せて適正な維持管理にも努めてま</p>	今後の参考にするもの	p.27

	提出された意見等の概要	対応方針	意見の 取扱	掲載 ページ
に つ い て		<p>いります。</p> <p>また、民間事業者へ沿道の緑化を促すとともに、積極的に環境美化活動に取り組まれている自治会もごございます。そのため、観光客や市民に親しまれる道路空間に向けて、迅速に計画を進められるよう施策を推進するとともに、市民の皆様にも御協力いただきたいと考えております。</p>		

■：防災について

	提出された意見等の概要	対応方針	意見の 取扱	掲載 ページ
下 地 島 周 辺 の 避 難 体 制 に つ い て	<p>交通結節点となる下地島空港及び周辺部については、津波が生じた場合の避難所等が近場に存在しないため、災害時の迅速な復旧対応も考慮し、施設関係者や施設利用者の避難先確保をお願いしたい。</p>	<p>ご指摘の通り、地震による津波が発生した場合、ほぼ全域が津波浸水する想定がなされているものの、近辺の避難所まで距離があるという状況は、認識しております。</p> <p>そのため、本市では、観光客も含めた防災対策に関する計画を別途検討する予定であり、ご意見を踏まえて、施設関係者や施設利用者の避難先確保を検討してまいります。</p>	<p>今後の 参考に する もの</p>	<p>P.13</p>